

射水市更生保護女性会だより

8/19

映画『ミックスモダン』上映会

8月19日、保護司会と更生保護女性会の合同研修会で、「ミックスモダン」の映画を鑑賞しました。

親に見捨てられ孤独の中で生きてきた少年が、子どもを授からない身元引受人の夫婦と出会い、お互いを信じるという絆の中で、少年が生きる意味を見つけていく物語。監督自身が保護司として活動しながら、自らの体験を生かし、演出、俳優としても出演されて、更生支援の現実や困難をリアルに描かれています。

「反省は一人でもできるが、更生は一人ではできない」という言葉に感銘を受け、寛容で支え合える温かい地域社会を築いていくことが大切だと思います。



▲上映会の様子



▲映画「ミックスモダン」

9/4

施設視察研修会

特定非営利活動法人「むげん」

「むげん」は、門田晋理事長の障がいがあっても年老いても住み慣れた地域で当たり前に安全に暮らしてほしいとの願いから14年前に設立されました。施設内見学では、野菜・ハーブ園での栽培や収穫、ドライ製品作りについて、就労支援事業所では、紙や繊維製品の加工やギフト商品の包装の様子を、2階の地域交流施設では、地域の小学生を対象に放課後や長期休暇時の居場所作りも始めたとの説明を受けました。



▲「むげん」にて

地域との連携を積極的に勧め、障がい者も地域住民も集える温かい雰囲気施設見学は、1時間の見学があつという間に過ぎて、急いでバスに乗り込み次の場所へ出発しました。

富山少年鑑別支所

その建物は、コンクリート塀の上に鉄条網を貼り巡らした中にありました。始めに所長さんより鑑別所の役割について話を聞いた後、施設内を案内してもらいました。「少年犯罪は減少し、現在の入所者は2名です。」と聞き安堵しました。少年達はここで、医学、心理学、教育学、社会学の側面から鑑別を受け、立ち直れるよう、様々な教育

9/28

養得園給食活動

を受けると共に、教官や職員、家族の支援を受けながら生活します。1日も早く社会人としての一歩を踏み出して欲しいと願いながら帰路につきました。

9月28日新湊B地区(作道・片口・堀岡・海老江・本江・七美)の六名で行ってきました。メニューは、①チキンカツ生野菜添え②ポテトサラダ③煮物(がんとむらび人参・こんにゃく・干しシイタケ)④冬瓜そばろ煮⑤味噌汁(すり身・豆腐・えのきだけワカメ・ネギ)⑥果物です。九月末になっても暑い日々で食中毒を心配しながら、ご飯と味噌汁を除いたメニューの担当を決め各々作って行きました。当日は知事の視察



訪問が入っていると聞かされ、作っているとところもお見せするようにとの事でとても緊張して迎えました。養得園の実態説明の席では、「更生保護女性会会員は園生の方々が毎回

12/11

防災研修会

とても楽しみに待っているとお聞きしていることでやりがいを持って楽しく活動し、絆を深める一如にもなっていること」をお伝えしました。知事との記念写真も撮って頂きました。得難き充実した一日でした。

射水市消防本部の石丸正人氏の講演は、仕事を通して消防士として自信と誇りを強くしてきた姿を、私生活も交えながらユーモアたっぷりに話され親しみを持って聴きました。

東日本大震災について、災害発生後現地に赴き、目にした悲惨な災害現場の様子を、地震発生から15年が経過し、今日初めて人前で話しますと前置きし、一人でも多くの生存者を救いたいと寒さと空腹に襲われながら現場を歩き回った体験は驚愕な状況で、私達の心に強烈に伝わりました。

そして、石丸氏の体験を聴き地震の怖さを改めて痛感する時間となりました。その後、女性消防団の方々と一緒に丈夫でコンパクトな簡易トイレづくりをし、実際に腰かけ、水と凝固剤を使い処理方法などを体験しました。



参加者一同今できること思いを新たにしたい研修会になりました。